

冬の花壇で綺麗に咲く多年草14種 比較一覧表 (v2)

各多年草の原産地、花期、特徴、栽培管理のポイント、花言葉のまとめ

植物名	原産地	主な花期	花・草姿の特徴	栽培の最重要ポイント（水やり・温度管理・夏越しなど）	主な花言葉
アネモネ	地中海沿岸地域	2月～5月	・ 萼（がく）が発達した鮮やかな花（花持ちが良い） ・ 一重、八重、丁字咲きなど	・ 過湿を極端に嫌うため、土が乾いてから水やり。 ・ 5月頃に葉が枯れたら球根を掘り上げ、乾燥させて涼しい場所で保管し10月末に植え付ける。 ・ 極寒期は霜よけなどの防寒が必要。	「はかない恋」 「恋の苦しみ」 「見捨てられた」
エリカ	アフリカ原産	冬咲き系統： 10月～4月頃	・ 小さな釣鐘型や球状の小花がびっしり咲く常緑低木 ・ カサカサした乾いた質感	・ 最大の注意点は「水切れ厳禁」（極めて乾燥に弱く、一度乾ききると落葉し枯死する）。 ・ 南アフリカ産は寒さに弱く室内管理が必須。ジャノメエリカ等は非常に強く屋外冬越し可能。 ・ 酸性土壌を好む。	「孤独」「寂しさ」 「博愛」「幸運」
オステオスペルマム	南アフリカ	1～5月、9月～11月 （二季咲き）	・ 「春の訪れを告げる花」 ・ ビビッドから淡いパステルカラーまで豊富	・ 冬～早春は生育が緩慢なため水のやりすぎ（過湿）に注意。 ・ 霜や寒風に当たると蕾が枯れるため軒下やカバーで防寒。 ・ 冬の肥料は最低限にし、春に追肥を再開する。	「元気」「無邪気」 「変わらぬ愛」 「ほのかな喜び」
ガーデンシクラメン	地中海沿岸、北アフリカ、中近東	10月～4月頃	・ シクラメンの耐寒性を強くした小型品種 ・ 次から次へと絶え間なく咲く	・ 週1回の液肥での追肥が非常に重要。 ・ 咲き終わった花を根元から抜く「花がら摘み」と、中心の蕾に光を当てる「葉組み」を定期的に行う。 ・ 5月頃に枯れ始めたなら、休眠（球根のみ）か非休眠で夏越し。	「遠慮」「気後れ」 「内気」「はにかみ」
カンギク（寒菊）	日本（自生種を元に品種改良）	12月～1月	・ 真冬に見ごろを迎える（別名：霜見草） ・ 冬に葉が紅葉する性質（テリカンギク）	・ 苗が10cmに生長したタイミング等で計2回「摘芯」を行い、枝数を増やして花数を増やす。 ・ 非常に多肥を好むため、十分な置き肥を施す。 ・ 成長期は極端に乾燥させない。	「けなげな姿」 「繊細」 「真の強さ（芯の強さ）」
クリスマスローズ	ヨーロッパ、西アジア	12月～3月頃	・ うつむき加減に咲く（別名：冬の貴婦人） ・ 花びらに見える部分は「萼」で散りにくい	・ 極めて耐寒性が高いが、暑さに弱い。 ・ 夏の間は休眠期。涼しい半日陰に置き、水やりは控えめで一切の施肥（肥料）を止める。 ・ 10月と4月に緩効性肥料を与える。鉢植えは3年に1回秋に植え替え。	「私の不安を和らげて」 「慰め」「追憶」 「中傷」
クレマチス（冬咲き）	中国、地中海沿岸、小アジア	10月～5月頃	・ 白やアイボリーの下向きに咲くユニークな花 ・ 常緑性と落葉性がある	・ 冬の日当たり管理が最重要（霜や雪を早く溶かして凍傷を防ぐため朝から日が当たる場所が良い）。 ・ 強い北風を避ける軒下等に置く。 ・ 冬の肥料過多は根を傷めるため、施肥は月1回適度にする。	「精神の美」 「旅人の喜び」 「策略」

植物名	原産地	主な花期	花・草姿の特徴	栽培の最重要ポイント（水やり・温度管理・夏越しなど）	主な花言葉
シンビジウム	東アジア～東南アジア熱帯・亜熱帯高地	12月～4月頃	・洋ラン。寒さに強く極めて丈夫 ・光沢のある肉厚の花が長い花茎に多数咲く	・根が深く伸びるため「深鉢」とラン専用の「バーク」を使用。 ・夏は遮光ネットで葉焼け防止。 ・春～夏（生育期）は水・肥料をたっぷり与え、冬は極めて乾燥気味（週1～2回）に保つ。 ・9月に花芽を3芽以下に制限する「芽かき」を行う。	「飾らない心」 「素朴」 「高貴な美人」 「華やかな恋」
スイセン（水仙）	ヨーロッパ	11月中旬～4月頃	・凜とした美しい立ち姿 ・ニホンスイセンなどは香りが非常に強い	・非常に耐寒性が強いが暑さには弱い。 ・花後も葉が自然に枯れるまでは水やりを続け、光合成で球根に栄養を蓄えさせる（夏は水やり不要）。 ・密植（まとめ植え）を好む。 ・過剰な施肥は厳禁。元肥と開花中の追肥、開花後のお礼肥。	「自己愛」「うめぼれ」
スノードロップ	ヨーロッパ	2月～3月頃	・真っ白で可憐な下向きの鐘形の花を1輪咲かせる ・雪の中でも元気に咲くタフさを持つ	・水はけ抜群の土（赤玉土・腐葉土・軽石のブレンド等）が絶対条件。 ・花後は花茎を元から摘み取るが、葉は枯れるまで残す。 ・夏の休眠期も土を完全に乾燥させすぎず、地温上昇を防ぐ（鉢は日陰、地植えはマルチング）。	「希望」「慰め」 「逆境の中の希望」
デンドロビウム・ノビル系	アジア熱帯～亜熱帯、温帯高原	2月～5月	・太い茎（バルブ）の各節から華やかな花を密に咲かせる	・冬は室内の明るい窓辺（霜・氷点下・暖房風はNG）で極めて控えめな水やり（乾燥気味）にする。 ・春～夏（生育期）は屋外で日光に当て、水と肥料をしっかりと与えてバルブを太らせる。 ・秋は水を減らし肥料を止めて花芽を促す。	「謹厳実直」
フクジュソウ（福寿草）	日本、中国東北部、シベリア東部	2月～4月頃	・黄金色の縁起の良い花（別名：元日草、朔日草） ・夏に地上部を完全に消失するスプリング ・エフェメラル	・植え付け時は「深植え厳禁（芽先を少しだけ出す）」。 ・極めて水はけの良い用土を使用。 ・春の青葉期は水切れ厳禁。夏の休眠期はやや乾かし気味にするが、完全な乾燥は避けて時々水やりする。 ・花後にお礼肥を施す。	「幸せを招く」 「永久の幸福」 「悲しき思い出」 「回想」
プリムラ	ヨーロッパ	11月～4月	・カラフルな花を株元に多数咲かせるコンパクトな草姿 ・日本の夏に極めて弱く、通常一年草扱い	・株元（成長点）に日光を当てるのが極めて重要。 ・水やりは花や株の中心にかからないよう、葉を持ち上げて株元へ注ぐ（灰色かび病予防）。 ・多肥を好むため、十分な元肥と開花中の定期的な追肥。 ・種は「好光性」のため覆土せずにまく。	「青春のはじまりと悲しみ」 「青春の恋」 「運命を開く」
マーガレット	スペイン	11月～5月頃	・清楚な花を次々咲かせる ・一重、八重、丁字咲きなど。一部に芳香種あり	・酸性土壌を嫌うため、植え付け前に「苦土石灰」を混ぜる。 ・過湿を嫌うため常に乾燥気味に管理。 ・開花期は土が乾いたらたっぷり株元に（花や蕾にかけない）。 ・夏は生育休止期のため、水やりをさらに控え、雨（長雨）を避けて軒下に。	「恋占い」「心に秘めた愛」 「真実の愛」 「信頼」「誠実」